

立命館大学S Rセンター紀要執筆要領

1. 目的

この要領は、立命館大学S Rセンター紀要編集規程第8条により、「立命館大学S Rセンター紀要」（以下、紀要という）への投稿手続き及び原稿の執筆等に関し、必要な事項を定める。

2. 内容

原稿が、投稿規程にある当紀要の目的と区分に当てはまらない内容であると紀要編集委員会で判断される場合は、不採録とすることがある。

3. 原稿の文章の種類

英文とし、RESEARCH ARTICLES には 300 語以内の英文要旨（abstract）を付けること。

4. 原稿用紙および原稿の長さ

原稿は Microsoft Word（A4 版）データとし、RESEARCH ARTICLES は原則 6 頁以内、SHORT NOTES は原則 1 頁以内、STATUS OF THE BEAMLINES は原則 1 頁以内の横書きとする。なお、査読後の修正指示に伴って分量が上限を超過する場合、原則として 1 頁以内の超過を認める。また、指定のテンプレートを用い、完全版下の原稿で投稿すること。

5. 著者

RESEARCH ARTICLES および SHORT NOTES は、S Rセンターの利用者を著者に含むこと。

6. 研究倫理・著作権について

著者は、S Rセンター紀要編集規程の研究倫理・著作権の条項に記載の内容を遵守し、所定の誓約・承諾書を提出すること。

7. 原稿の校正、訂正、返却

編集委員会では校正は行わない。可能な限り、専門家による英文校閲を受けて投稿すること。原稿受付後の訂正はできない。また、投稿原稿は返却しない。

8. 原稿の受付と締め切り

原稿の募集、受付、締め切りについては、編集委員会で決定する。

「立命館大学S Rセンター紀要（第 27 号）」の原稿は、2025 年 5 月 7 日（水）必着とする。原稿は、Microsoft Word（A4 版）データを電子メールに添付して下記の提出先へ送ること。

投稿先： BKC リサーチオフィス（担当：尾崎 雅尚・塚田 紀美）

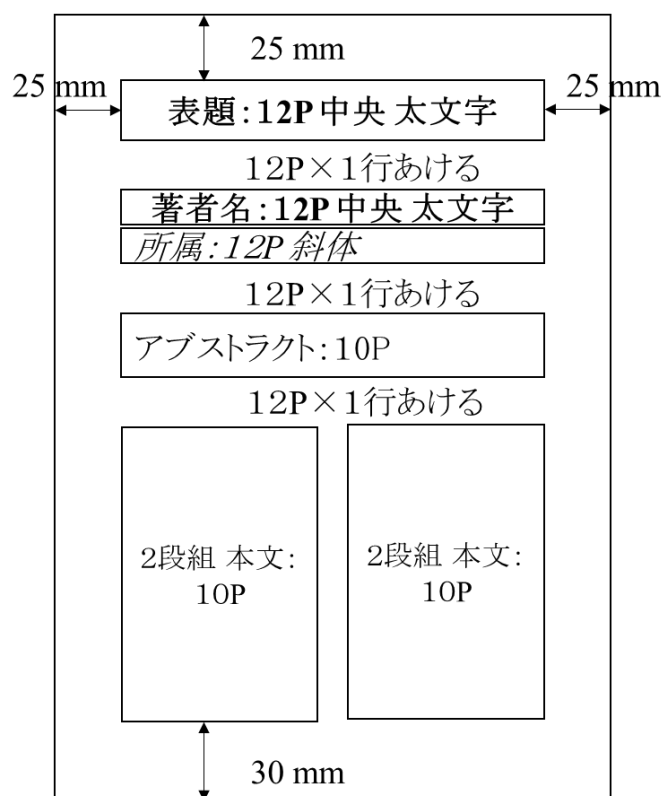
電話：077-561-5023（内線 515-6510）

e-mail：sr-01@st.ritsumei.ac.jp

9. 書式設定

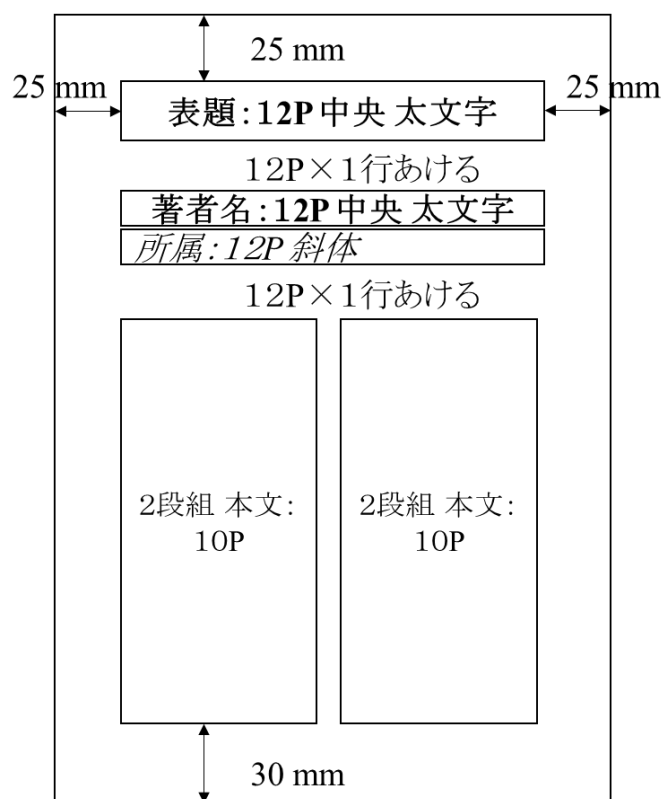
原稿は Microsoft Word を用いて、下記の提出様式に従って A4 版で作成すること。原稿受付後の訂正は一切できないので、提出前に十分な推敲をすること。提出された原稿をそのまま掲載するため、スペル等の英文チェックは著者にて行ない、完全版下で提出すること。様式等に訂正がある場合には、変更を依頼する場合がある。

「RESEARCH ARTICLES」提出様式



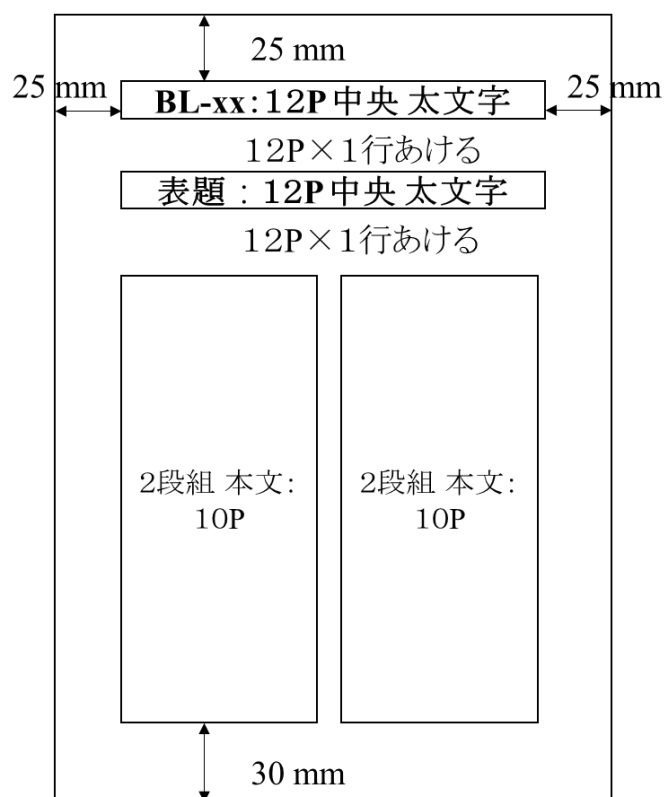
項目	設定
ページ数	原則、6 ページ以内
字体	Times New Roman
表題	12 point、中央揃え、太文字
著者名	12 point、中央揃え、太文字
所属	12 point、両端揃え、斜体文字
アブストラクト	10 point、両端揃え
本文	10 point、2 段組、両端揃え
余白	上・左・右 : 25 mm、下 : 30 mm

「SHORT NOTES」提出様式



項目	設定
ページ数	原則、1 ページ以内
字体	Times New Roman
表題	12 point、中央揃え、太文字
著者名	12 point、中央揃え、太文字
所属	12 point、両端揃え、斜体文字
本文	10 point、2 段組、両端揃え
余白	上・左・右 : 25 mm、下 : 30 mm

「STATUS OF THE BEAMLINES」提出様式



項目	設定
ページ数	1 ページ
字体	Times New Roman
ビームライン名	12 point、中央揃え、太文字
表題	12 point、中央揃え、太文字
本文	10 point、2 段組、両端揃え
余白	上・左・右: 25 mm、下: 30 mm

「LIST OF PUBLICATIONS」提出様式

- ・ 2024年4月から2025年3月までのリストを作成すること。
- ・ 年号や開催地等の記載方法は、下記の様式を守って記載すること。
- ・ 論文や著書について、出版が確定したもののみをリストし、投稿中のものは記載しないこと。
- ・ 学会について、英語で発表したものは英文で、日本語で発表したものは和文で記載すること。

Papers

著者: タイトル, 雑誌名, 巻 (年) 開始頁-終了頁.

(例)

[1] K. Nakanishi, H. Suzuki, T. Katoh, S. Imai, Y. Nakayama and H. Miki: Deposition of Polyethylene Thin Films using Synchrotron Radiation Ablation, *Jpn. J. Appl. Phys.*, **38** (1998) 863-867.

Reviews

著者: タイトル, 雑誌名, 巻 (年) 開始頁-終了頁.

(例)

[1] 岩崎博: 立命館大学小型放射光源の活動-特徴ある施設を目指して-, *放射光*, **12** (1999) 97-102.

Books

著者: 書名, 出版社名 (年).

分担執筆の場合 | 著者: 分担部タイトル, 書名, 編集者名, 出版社名 (年) 開始頁-終了頁.

(例)

[1] 五十野善信, 塩見友雄, 手塚育志: 高分子の分子量, 共立出版 (1992) 76-93.

[2] K. Takemoto, N. Watanabe, A. Hirai and H. Kihara: The Object Chamber Staying in Air of the Zone Plate X-Ray Microscope, *X-Ray Microscopy and Spectromicroscopy*, G. Schmahl et al. ed., John Wiley & Sons (1998) I129-I134.

International Meeting

著者: タイトル, 学会名, 開催都市, 月 (年).

(例)

[1] H. Iwasaki, N. Nakayama, Y. Yoshimura, A. Ishikawa and T. Koganezawa: Phase Determinations by the Wavelength-Modulated Diffraction Method, 18th International Union of Crystallography, Glasgow, August (1999)-

Domestic Meeting

著者: タイトル, 学会名, 開催都市, 月 (年).

(例)

[1] 辻淳一, 美濃林妙子, 小島一男, 池田重良, 谷口一雄: 異なる測定法による軽元素の軟X線吸収スペクトル, 第34回X線分析討論会, 仙台, 11月 (1998).

「PATENTS」提出様式

- ・ 2024 年 4 月から 2025 年 3 月までのリストを、下記の様式を守って作成すること。

BL-XX (ビームライン説明)

[1] 発明者: 特許名, 出願番号または公開番号.

(例)

[1] 谷克彦, 西勝英雄: X 線反射率測定装置, 特願平 11-74451.

「AWARDS」提出様式

- ・ 2024 年 4 月から 2025 年 3 月までのリストを、下記の様式を守って作成すること。
- ・ 日本語表記での受賞の場合は和文で、英語表記での受賞の場合は英文で記載すること。

受賞名

受賞者 (所属): 受賞対象研究, 学会名, 月 (年).

(例)

[1] IBA Early Career Award

Yuki Orikasa (Ritsumeikan Univ.): Operando X-Ray Analysis of Hierarchical Reaction in Lithium-Ion Battery, March (2017).

[2] 電気化学会論文賞

松原嵩, 土屋由香 (東京電機大), 山中恵介, 光原圭, 太田俊明 (立命館大), 藪内直明 (東京電気大): Synthesis and Electrode Performance as Positive Electrode Materials for Rechargeable Lithium Batteries, *Electrochemistry (Tokyo, Japan)* **84** (2016) 797-801.

[3] 第 30 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム学生発表賞

中井真理奈 (立命館大学): 窒化銅ナノ粒子の液相合成過程に関する化学状態解析, 第 30 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム, 1 月 (2017).

「ACADEMIC DEGREES」提出様式

- ・ 2024年4月から2025年3月までのリストを、下記の様式を守って作成すること。
- ・ 博士論文と修士論文のいずれも、和文と英文を併記すること。

博士 (Doctor)

学位 氏名 (所属)	博士論文タイトル
Degree Name (Affiliation)	Doctoral Dissertation Title

(例)

博士(理学) 岩井 秀夫 (立命館大学)	放射光励起光電子分光のための高分解能・高透過率 小型光電子エネルギー分析器の開発 研究
Dr. Sc. Hideo IWAI (Ritsumeikan Univ.)	Development of a New Compact Electron Energy Analyzer for High Resolution SR Photoelectron Spectroscopy

修士 (Master)

学位 氏名 (所属)	修士論文タイトル
Degree Name (Affiliation)	Doctoral Dissertation Title

(例)

修士(理学) 古久保 智也 (立命館大学)	放射光電子分光のための真空紫外線入射分光器の光 学設計と放射光ビームライン の開発
M. Sc. Tomoya FURUKUBO (Ritsumeikan Univ.)	Optical Design and Construction of a New Beamline for VUV Photoelectron Spectroscopy